

西黒田ふれあいだより



～一人ひとりが共に楽しく、明るく喜びを重ねるまち西黒田～

平成26年度 自治会 新役員決まる

みなさんのご協力よろしくお願ひいたします

役員名簿

連合自治会長
横田 増市
副会長
大久保 末廣
副会長
川村 保幸
監事
横田 信三



町	自治会長	体育推進員	女性協議員	体育文化部会 (体育事業部長)	体育文化部会 (文化事業部長)	福祉委員
八条	清水 秀則	岩崎 貴昭	清水 恵子	清水 正昭	堀江 健二郎	柴崎 力
本庄	大久保 末廣	柿木 博幸	武田 八千代	柿木 富次	清水 進	大久保 茂子
本庄新	田中 敦司	大久保 芳樹	横山 清美	石井 秀樹	橋本 憲和	田中 敦司
常喜東	横田 増市	浅井 秀文	小川 真理子	中川 政典	尾曾 好彦	横田 増市
常喜西	川村 保幸	大久保 誠一	川村 千代	富田 宗宏	北川 健	川村 保幸
常喜新	横田 信三	武田 竜治	宮部 若子	別符 剛司	田辺 比佐子	横田 信三
鳥羽上北	浅尾 宏吉	清水 英俊	瀧澤 京子	大橋 孝行	浅尾 公彦	北村 美千代
鳥羽上南	中尾 文夫	中尾 徹	大橋 優子	中尾 定弘	中尾 宗弘	中尾 昭子
名越	久保田 久喜	引山 彰夫	片山 真理子	引山 彰夫	久保田 久喜	久保田 久喜
布勢	北條 克徳	池野 辰哉	池野 美智子	池野 雅行	池野 則男	池野 廣一
小一条	尾崎 洋	川村 真人	池野 まゆみ	尾崎 順一	岸本 幸雄	池野 光

地域住民の立場に立って、相談・
支援活動を行っていただく

民生委員・児童委員、
主任児童委員の皆さんです

氏名	担当自治会名	☎
若林 宏	八条	63-8319
武田 幸太郎	本庄、本庄新	62-8003
奥田 和代	常喜東、常喜西、常喜新	62-9178
引山 和子	鳥羽上北、鳥羽上南、名越	62-9253
橋本 文男	布勢、小一条	62-9761
清水 美栄子	○主任児童委員(西黒田・神田地区)	63-9288

(任期：平成25年12月1日～平成28年11月30日)



平成26年度 主要行事予定



月	日・時間	事業名	場所	主催
4	5(土)	交通安全祈願祭&交通安全・防犯教室	西黒田公民館ホール	安全環境部会(守る会)
	19(土)	西黒田ふるさと振興会議 総会	西黒田公民館ホール	ふるさと振興会議
5	25(日)	クリーン大作戦	西黒田地区内	安全環境部会
6	8(日)	第53回西黒田地区民金太郎ソフトバレーボール大会	南小・南中体育館	体育文化部会(体育)
7	12(土)	西黒田福祉の日	西黒田公民館	地区社協
	未定	金太郎わんぱくディキャンプ	西黒田公民館・前庭	地区子ども連協・ 青少年健全育成会
8	9(土)	盆踊り大会	サイクリングターミナル	体育文化部会(文化)
	15(金)	平和祈念祭	列見寺山忠魂碑	体育文化部会(文化) (連合自治会)
9	14(日)	第16回金太郎相撲大会	西黒田公民館前庭	体育文化部会(文化)
	28(日)	防災フェア	西黒田公民館	安全環境部会
10	12(日)	第45回西黒田地区民金太郎運動会	松の岩公園グラウンド	体育文化部会(体育)
11	1(土)	西黒田ふれあい文化祭	西黒田公民館	体育文化部会(文化)
	2(日)			
	23(日)	のろし駅伝	鳥羽上城址	体育文化部会(文化)

※日程は変更することがありますので、今後の案内にご注意ください。

INFORMATION・お知らせ

節分祭 (転倒予防教室)

1月25日(日)に開催された転倒予防教室は、節分が近いこともあり、豆まきと恵方巻き作りが行われました。豆まきには赤オコと青オコが乱入し、参加者さんの一斉攻撃を受けました。その後、自分で巻いた巻きずしを、今年の方角「東北東」を向いてほおばりました。



交通安全祈願祭&交通安全・防犯教室

日時 4月5日(土) 午前9時~
場所 西黒田公民館 ホール
※小学生は小学校の制服を、保護者の方は上着の着用をお願いします。
(上靴はいりません)
※当日は8:50までにお集まりください。

西黒田ふるさと振興会議 総会

日時 4月19日(土) 午後7時30分~
場所 西黒田公民館 ホール
内容 前年度事業報告・決算報告
役員改選
今年度事業計画・予算案
※駐車場は混雑することが予想されますので、出来る限り乗り合いをお願いします。

認知症になっても安心して暮らせるまちづくり

急速に高齢化が進む日本では「老い」に伴う代表的な病気「認知症」が増加の一途をたどっており、全国で約800万人が認知症もしくは認知症予備軍とされています。

しかも、現代の日本社会では2/3世帯が高齢者のみか高齢者1人であり、介護の問題も深刻です。

地区社会福祉協議会部会では、一昨年からは、認知症について理解を深めてもらえるよう啓発活動をしています。各自治会でも、厚生労働省の認知症について偏見を持たず正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り支援するボランティア「認知症サポーター」の講座をしていただき、地域で支えあう大切さを学びました。

身体の不自由な人は「車いす」や「つえ」など障害を補う道具があり、必要なときには援助を頼むことができますが、認知症の人は、そうした道具がなく自分で援助を頼むこともできません。

そこで、地域の人たちで、認知症の人の支えになるのが「人間づえ」だと、ある新聞に載っていました。地域で住む人が「どうしたの?」「大丈夫?」と声をかけ、温かく見守っていくことが地域の「つえ」です。

さらに、地域の輪が広がれば、もっと大きな支援の「つえ」となります。地域の皆さんが、この「つえ」を優しくそっと差し出せるよう、今後も啓発活動を推進していきます。



ふるさと西黒田②「名越町」

・左手の地蔵さん
小幡山の南側に祀られている地蔵さんで、左利きが右利きに直るといふ言い伝えがある。箸二膳を備え一膳を持ち帰り、右手で食事をすると右利きになり、今も遠くからお参りする人もあるという。(きんたろう会)

太陽光発電が設置されました

当館は、長浜市の「公共施設の屋根貸しによる太陽光発電システム設置事業」の対象施設となり、本館とホールの屋根に、縦1.039m、横1.340mの太陽光パネル(太陽電池モジュール)が245枚設置されました。

この太陽光発電システムの運転はすべて自動で行われ、玄関ホールに設置された「太陽光発電モニター」で発電状況を簡単に確認でき、地域における導入の目安とすることができます。また、災害時に電力供給がストップした場合、太陽光で発電した電力が使用できます。

【事業概要】

設置者：ワポウ産業株式会社(長浜市平方町)

施設やメンテナンスにかかる費用はすべて設置者負担です。売電益は設置者に入ります。市は屋根の使用料を受け取ります。

貸出期間：20年間(平成45年まで)

発電設備：太陽光発電システム：43.2kW 年間発電量約46,000kW
(一般世帯の約9軒分の電力需要量に相当する電力が発電される予定です)

<参考>1年間で、ポリタンク(18ℓ)約580本の石油を節約することになり、約1,350本の杉の木を植えるのと同じCO2の削減効果があります。



本館の屋根に設置された太陽光パネル



玄関ロビーに設置された太陽光発電モニター



パワーコンディショナー
太陽光パネルで発電された直流電力を家庭等で使っている交流電力に変換する機器